

2013年3月期 決算説明会

2013年5月10日

日本写真印刷株式会社

代表取締役社長 兼 最高経営責任者 鈴木順也

THINK OUTSIDE THE BOX

本日のポイント(実績)

2013年3月期の実績

- 赤字幅が計画比で減少、経常利益・純利益は下期黒字化
- デバイス：売上高は計画通り
 - フトリソ工法のボリューム増加・収益改善が進展
 - Q3まで好調だったゲーム機向けの需要がQ4で失速
- 産業資材：売上高は計画を上回る
 - ノートパソコン向けの需要は上期好調も、下期減速
 - 携帯電話向けは年間を通して低迷
- 情報コミュニケーション：構造改革が奏功し利益体質が定着

THINK OUTSIDE THE BOX

本日のポイント(見通し)

2014年3月期の見通し

- デバイスの貢献で売上高が大幅増、営業損益は下期・通期黒字化を計画
- デバイス
 - フォトリソ工法のボリュームが増加(ただしQ1の需要は大幅に下落)
 - 円安効果は期待できるも、その分、価格引下げ圧力が強まる
- 産業資材
 - 携帯電話・ノートパソコン向けIMDの需要が低調
 - 新技術(ガラス転写・3D転写など)の販売促進に注力
- 事業ポートフォリオの組み換えに向けて、新技術・新製品の事業化を促進
 - 2013年3月期はアイテム出しが進展、2014年3月期以降は事業化を急ぐ

第4次中期経営計画

- 事業ポートフォリオの組み換え、財務体質の改善を引き続き推進

THINK OUTSIDE THE BOX

2

2013/3期 前期比増収、赤字幅が縮小

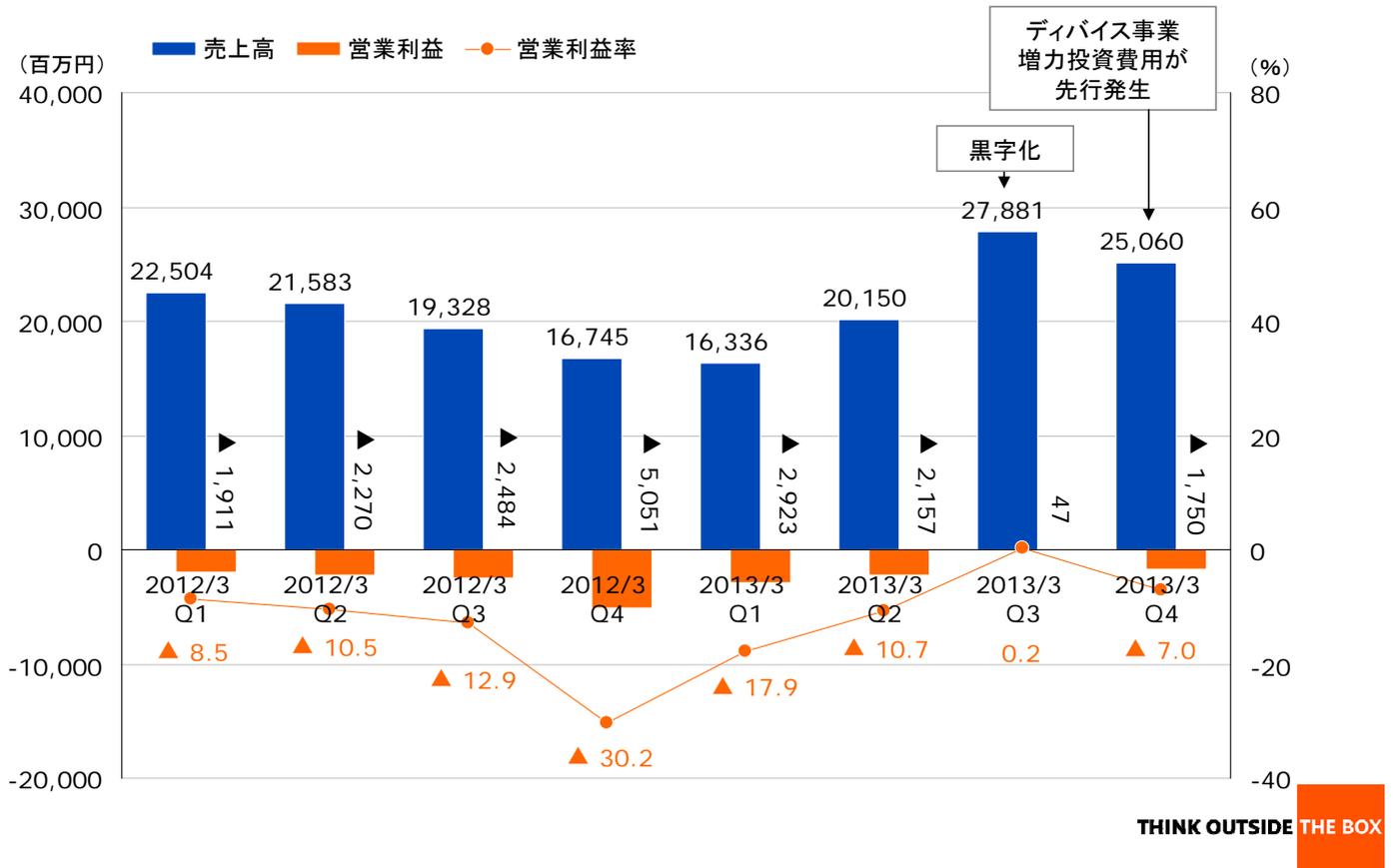
2013年3月期経営成績

(百万円)

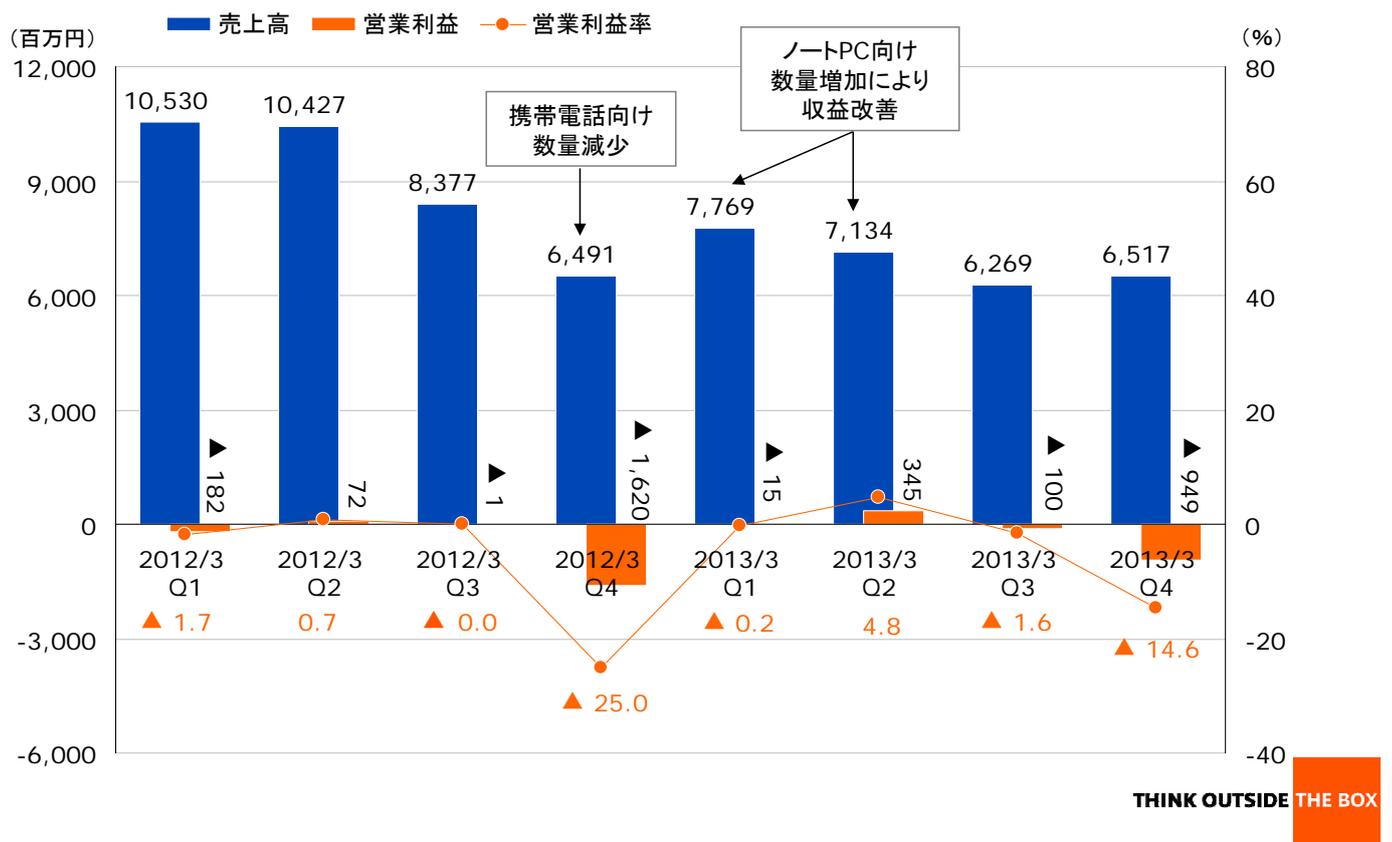
		2012/3期 実績	2013/3期 計画 (2/8修正公表)	2013/3期 実績	前期比	計画比
売上高		80,160	86,500	89,427	+11.6%	+3.4%
営業利益		▲11,716	▲8,400	▲6,783	-	-
営業利益率		▲14.6%	▲9.7%	▲7.6%	+7.0pt	+2.1pt
経常利益		▲11,320	▲7,000	▲4,643	-	-
当期純利益		▲28,684	▲7,800	▲5,438	-	-
事業別 売上高	産業資材	35,825	25,000	27,689	▲22.7%	+10.8%
	デバイス	25,728	43,000	43,133	+67.7%	+0.3%
	情報コミュニケーション その他	18,605	18,500	18,604	▲0.0%	+0.6%
事業別 営業利益	産業資材	▲1,731	-	▲719	赤字幅縮小	-
	デバイス	▲4,696	-	▲469	赤字幅大幅縮小	-
	情報コミュニケーション その他	301	-	337	+12.0%	-
	管理・R&D	▲5,590	-	▲5,933	-	-

3

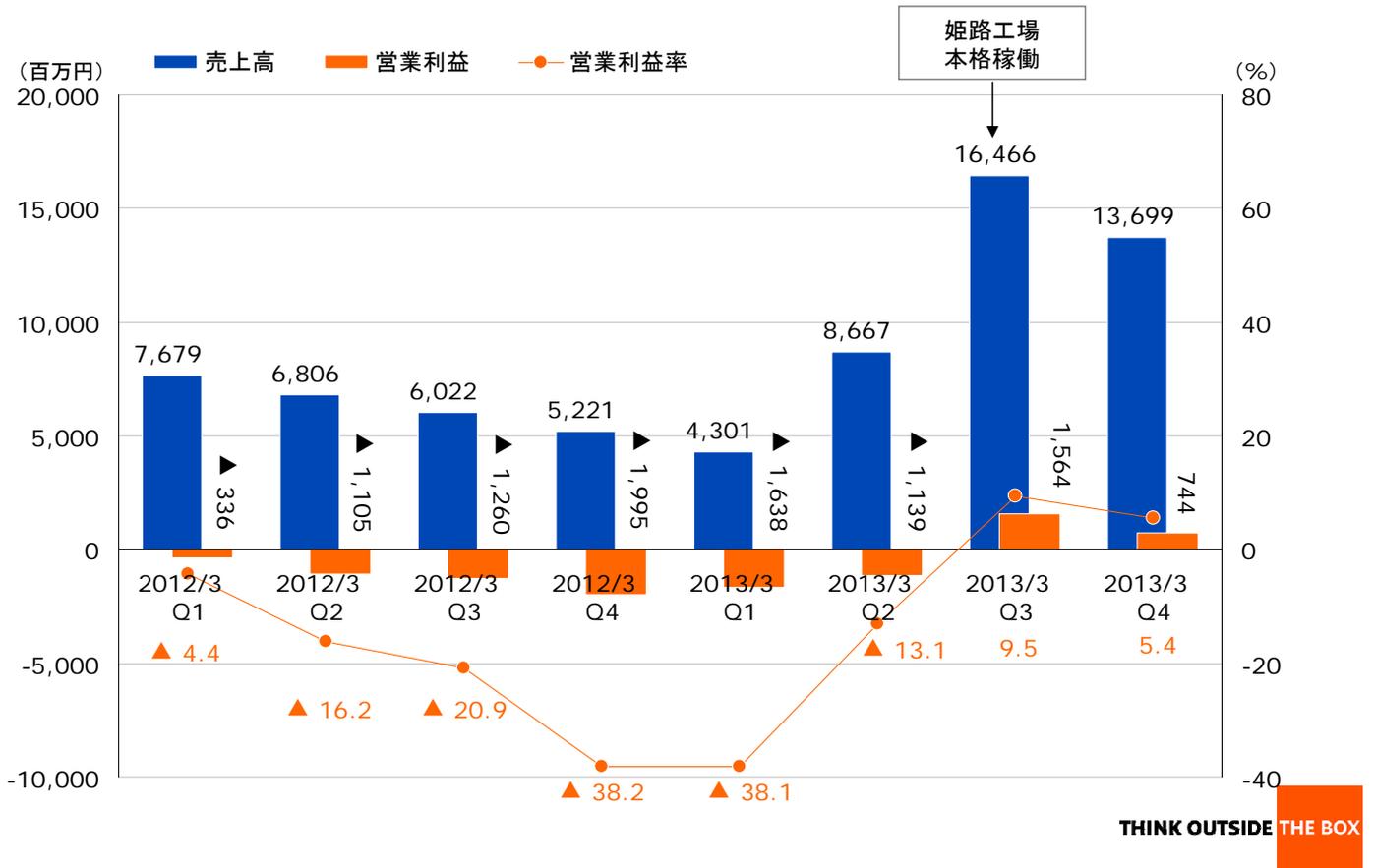
業績の推移(四半期)



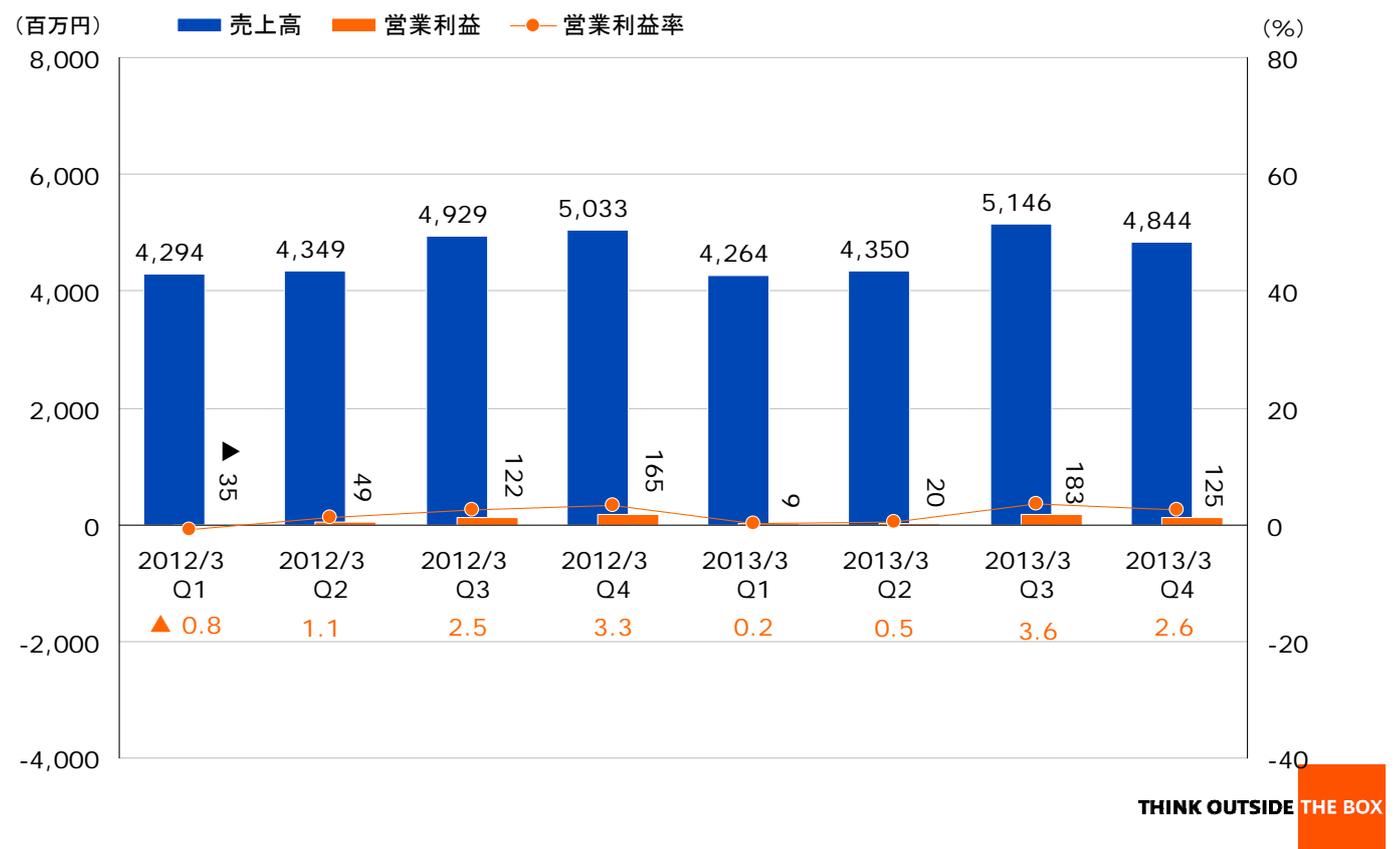
産業資材 業績の推移(四半期)



デバイス 業績の推移(四半期)



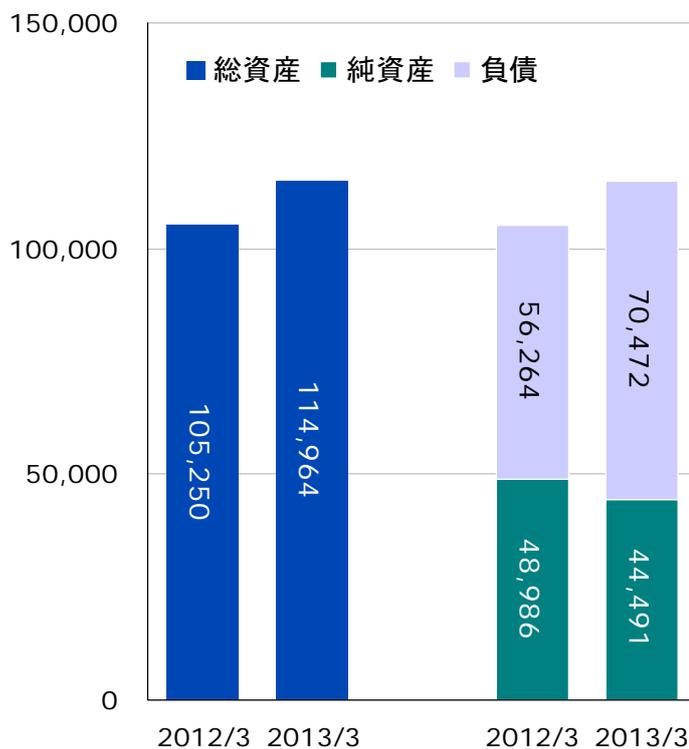
情報コミュニケーションその他 業績の推移(四半期)



貸借対照表の概要

総資産、負債、純資産の前期末比増減

(百万円)



●資産の主な増減

- 現預金の増加 +4,239
- 売上債権の増加 +4,961

●負債の主な増減

- 仕入債務の増加 +10,536
- 設備未払金の増加 +2,383
- 短期借入金の返済 ▲4,000

●純資産の主な増減

- 当期純損失の計上等に伴う利益剰余金減少 ▲5,438

THINK OUTSIDE THE BOX

8

キャッシュ・フローの状況

キャッシュ・フロー計算書の概要

(百万円)

	2012/3期 実績	2013/3期 実績	2013/3期実績の概要	
営業活動による キャッシュ・フロー	3,541	13,864	●税金等調整前当期純損失	▲5,010
			●運転資金の改善など	+10,438
			●減価償却費	+9,530
投資活動による キャッシュ・フロー	▲4,277	▲7,206	●固定資産の売却により	+2,170
			●固定資産の取得により	▲10,894
(フリーキャッシュ・フロー)	▲736	6,658		
財務活動による キャッシュ・フロー	3,076	▲4,677	●短期借入金の返済	▲4,000
現金及び現金同等物の 期末残高	19,490	23,692		

THINK OUTSIDE THE BOX

9

2014/3期 ディバイスが下期の収益回復を牽引

2014年3月期業績計画

(百万円)

	2013/3期 実績	2014/3期		2014/3期 計画 (¥95/\$前提)	前期比
		H1計画	H2計画		
売上高	89,427	53,000	77,000	130,000	+45.4%
営業利益	▲6,783	▲3,500	7,500	4,000	-
営業利益率	▲7.6%	▲6.6%	9.7%	3.1%	+10.7pt
経常利益	▲4,643	▲3,300	7,700	4,400	-
当期純利益	▲5,438	▲4,000	7,000	3,000	-

事業別売上高	2013/3期 実績	2014/3期 計画		前期比
産業資材	27,689		28,500	+2.9%
ディバイス	43,133		82,500	+91.3%
情報コミュニケーション その他	18,604		19,000	+2.1%

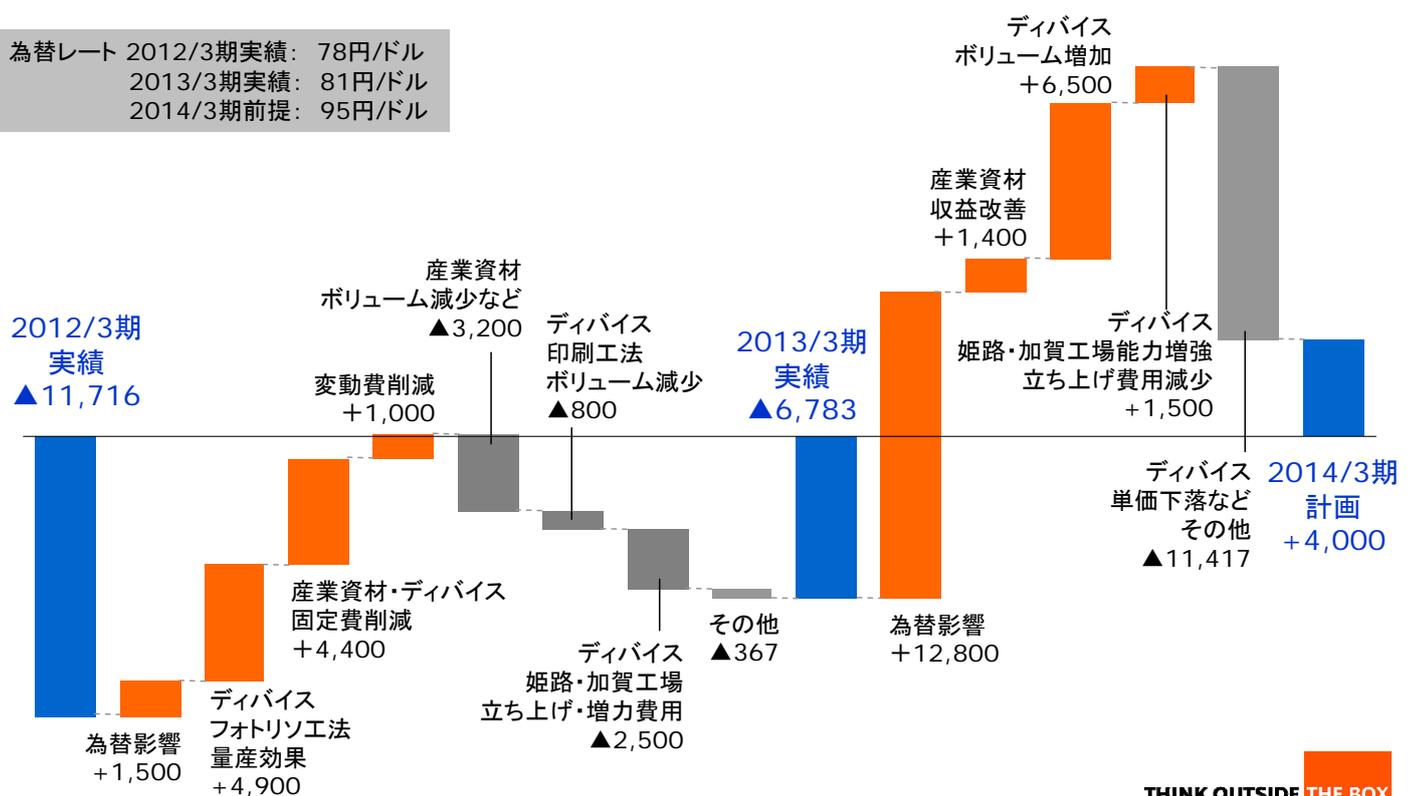
THINK OUTSIDE THE BOX

営業利益の増減要因

2012年3月期 ⇒ 2013年3月期 ⇒ 2014年3月期

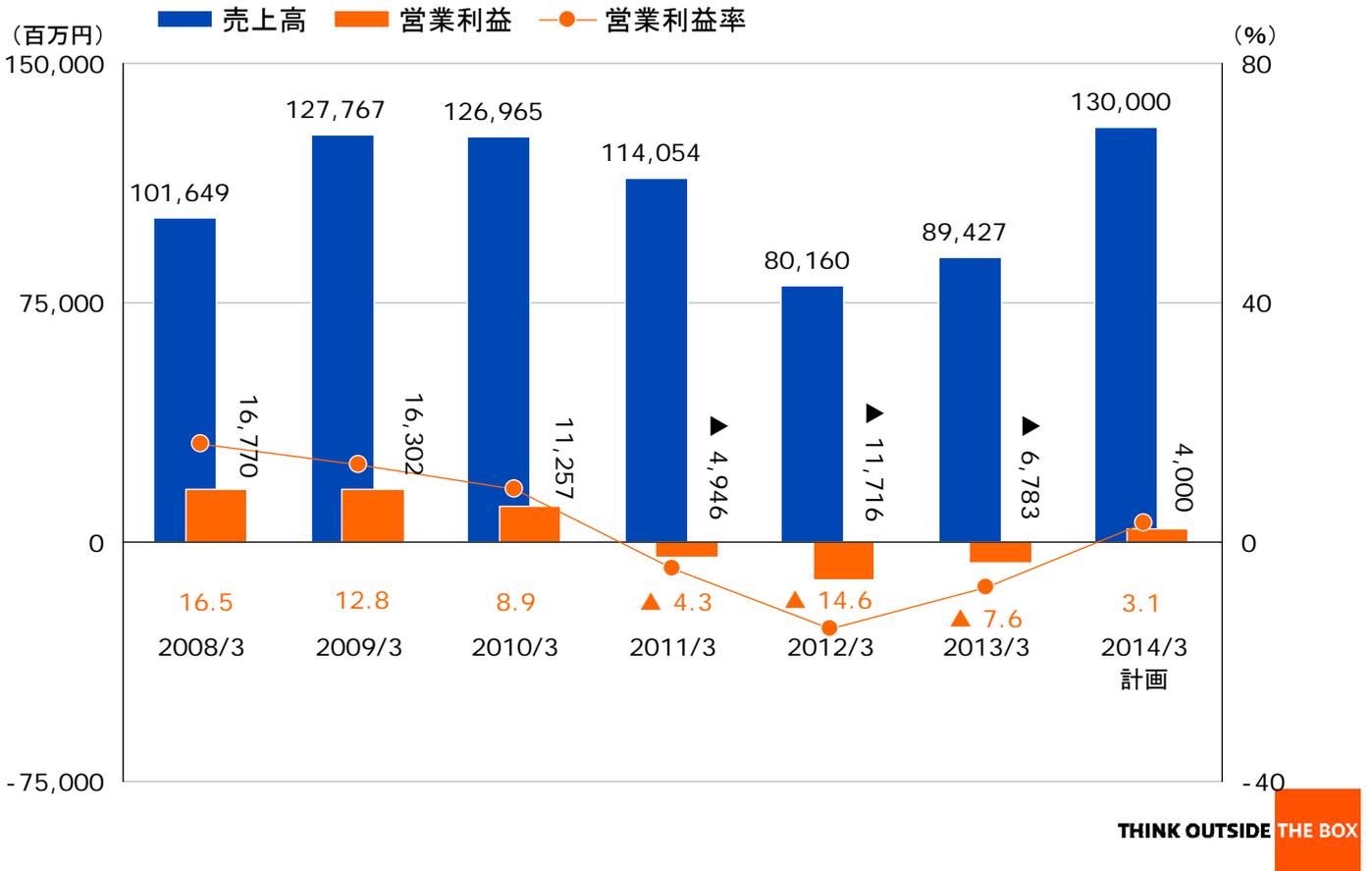
(百万円)

為替レート 2012/3期実績: 78円/ドル
2013/3期実績: 81円/ドル
2014/3期前提: 95円/ドル

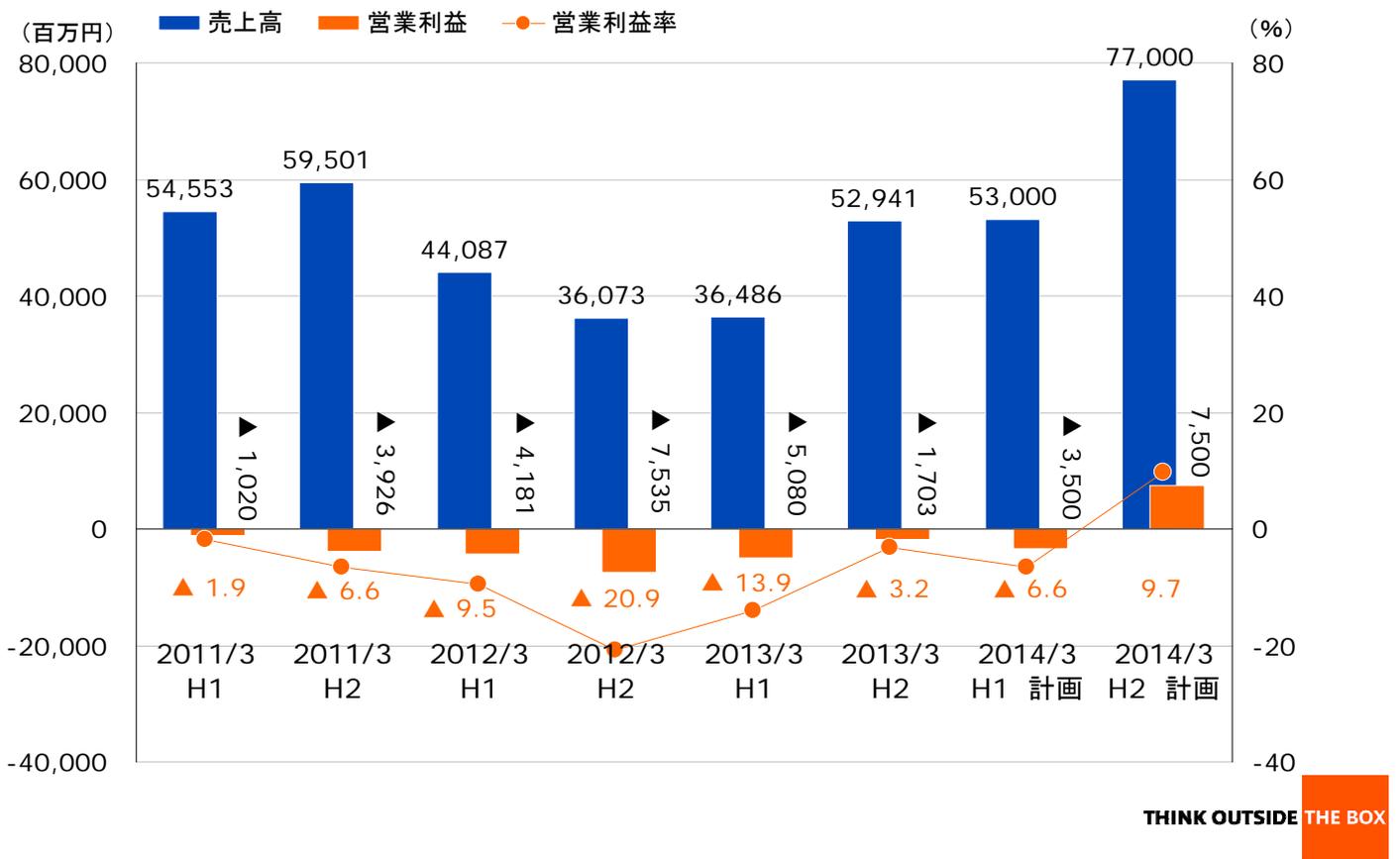


THINK OUTSIDE THE BOX

業績の推移(通期)

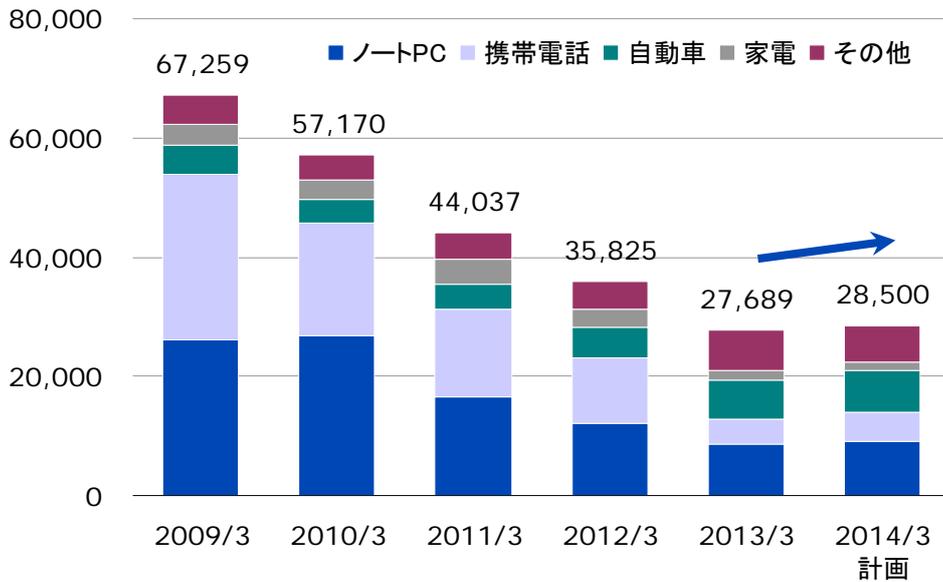


業績の推移(半期)



産業資材 新技術の投入で底打ちへ

産業資材 用途別売上高の推移 (百万円)



2014年3月期

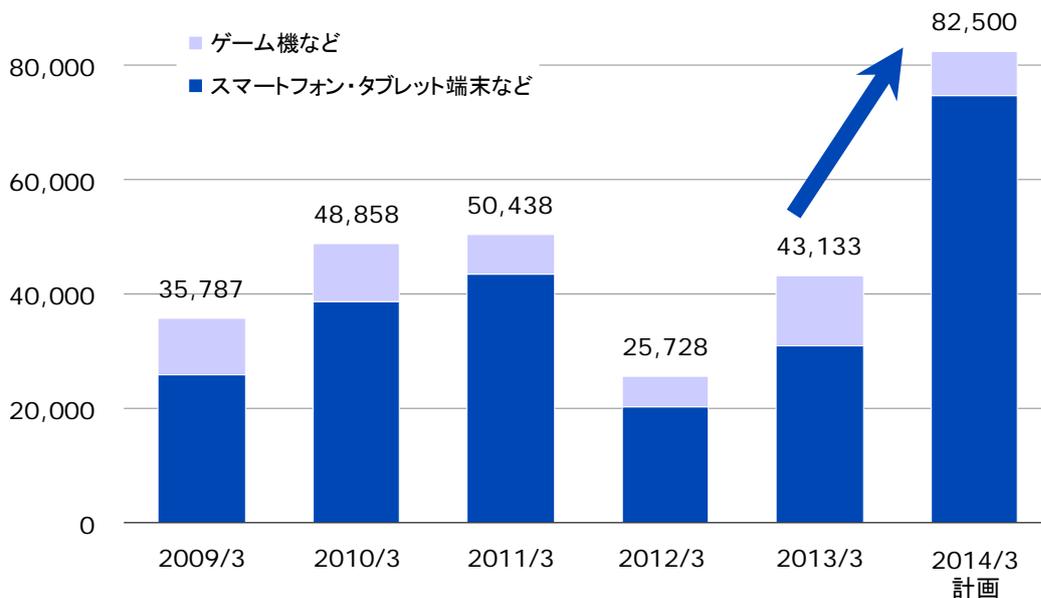
- ノートPC: 3D転写による金属筐体の取り込み
- 携帯電話: ガラス転写による取り込み

■ノートPC	26,231	26,775	16,542	12,231	8,617	9,200
■携帯電話	27,606	18,996	14,642	10,838	4,265	4,700
■自動車	4,822	3,938	4,172	5,109	6,571	7,000
■家電	3,532	3,176	4,254	3,025	1,559	1,600
■その他	5,068	4,285	4,427	4,624	6,678	6,000

THINK OUTSIDE THE BOX

デバイス フォトリソエ法のボリュームが増加

デバイス 用途別売上高の推移 (百万円)



■スマートフォン・タブレット端末など	25,803	38,813	43,542	20,200	30,887	74,700
■ゲーム機など	9,984	10,046	6,897	5,530	12,245	7,800

THINK OUTSIDE THE BOX

デバイス 工法別に生産能力を整備

- フォトリソ工法は姫路・加賀の二工場体制(加賀工場は7月より段階的に稼働)
- 印刷工法は静電容量方式を韓国合併会社へ移管、国内でも操業

フォトリソ工法生産能力 ※4インチ換算(月間)

	方式	現在の キャパシティ	2013年10月の キャパシティ(計画)	設備投資額 (累計+2014年3月期計画)
姫路工場	静電容量	24,000千台	24,000千台	17,427百万円
加賀工場	静電容量	-	24,000千台	10,000百万円
合計		24,000千台	48,000千台	27,427百万円

印刷工法生産能力 ※4インチ換算(月間)

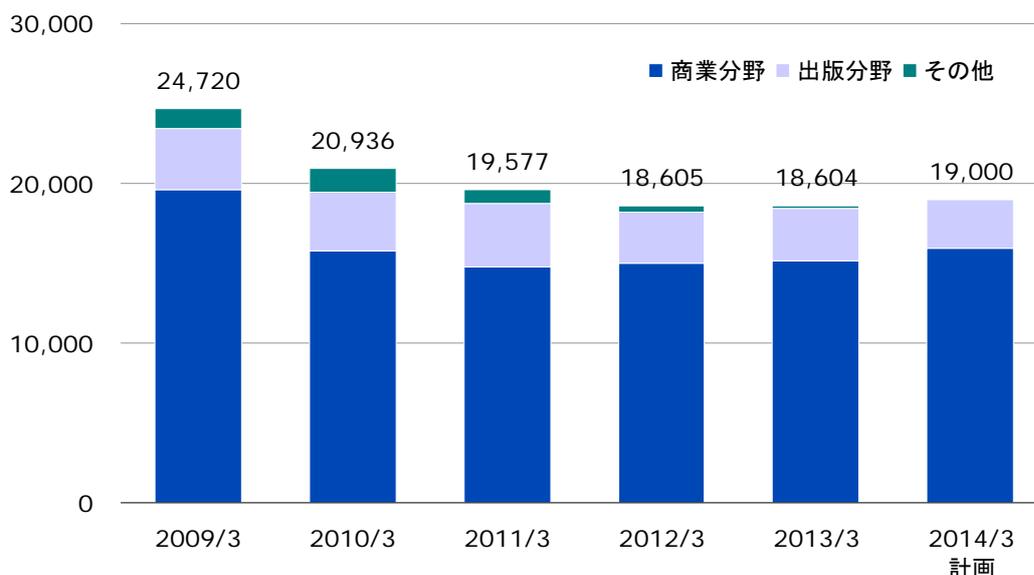
	方式	キャパシティ
加賀工場	抵抗膜	4,000千台
京都工場 *	静電容量	
NS Tech(韓国)	静電容量	

* 京都工場は自動車向けタッチセンサーを生産

THINK OUTSIDE THE BOX

情報コミュニケーション 安定して推移

情報コミュニケーションその他 分野別売上高の推移 (百万円)



■ 商業分野	19,573	15,817	14,763	14,999	15,193	15,900
■ 出版分野	3,858	3,641	4,022	3,196	3,223	3,060
■ その他	1,290	1,479	792	411	190	40

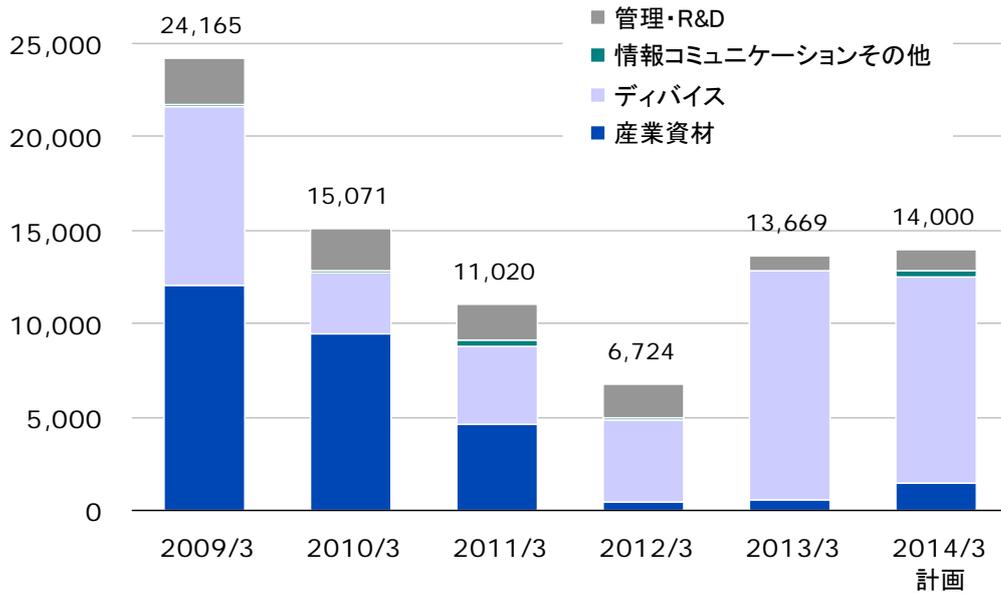
※「その他」には情報コミュニケーション事業に含まれない不動産事業、人材派遣事業などの売上高を含みます。

THINK OUTSIDE THE BOX

デバイスの生産能力増強に注力

事業別 設備投資額の推移

(百万円)



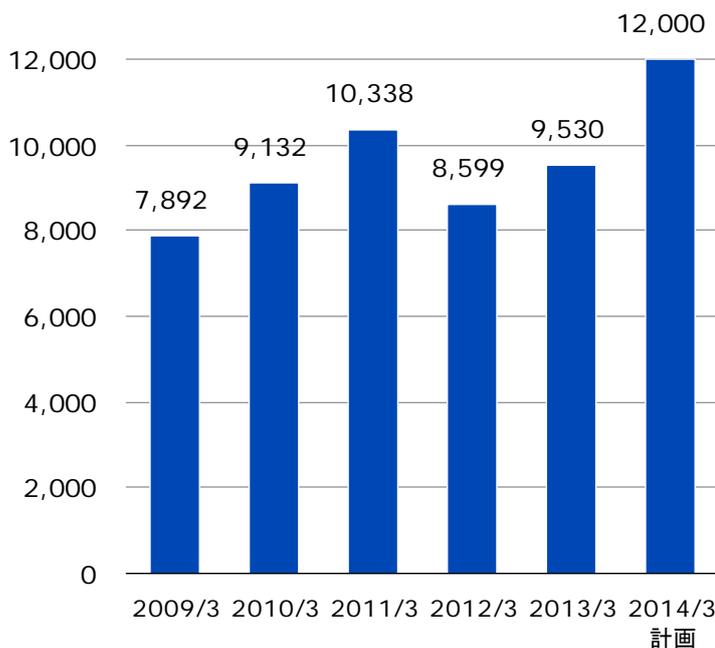
■ 産業資材	12,080	9,454	4,652	422	617	1,500
■ デバイス (うちフォトリソ工法向け)	9,585	3,278	4,100	4,470	12,225	11,000
■ 情報コミュニケーションその他	117	119	342	76	13	300
■ 管理・R&D	2,383	2,221	1,927	1,753	812	1,200

THINK OUTSIDE THE BOX

減価償却費はフォトリソ工法への投資で増加 研究開発費は25億円レベルを維持

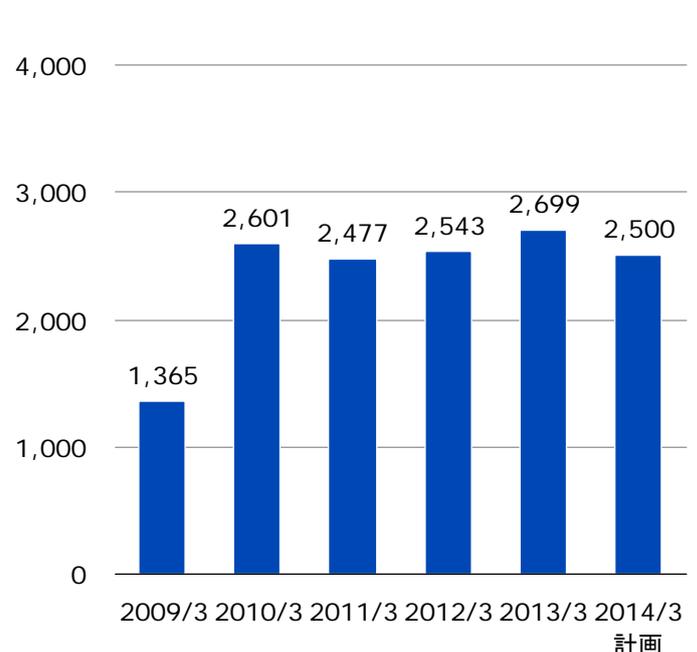
減価償却費の推移

(百万円)



研究開発費の推移

(百万円)



2013/3期 内訳	産業資材	3,131
	デバイス	4,578
	情報コミュニケーションその他	267
	管理・R&D	1,552

THINK OUTSIDE THE BOX

戦略1.(つづき)

事業・製品ポートフォリオの組み換えによる成長(デバイス)

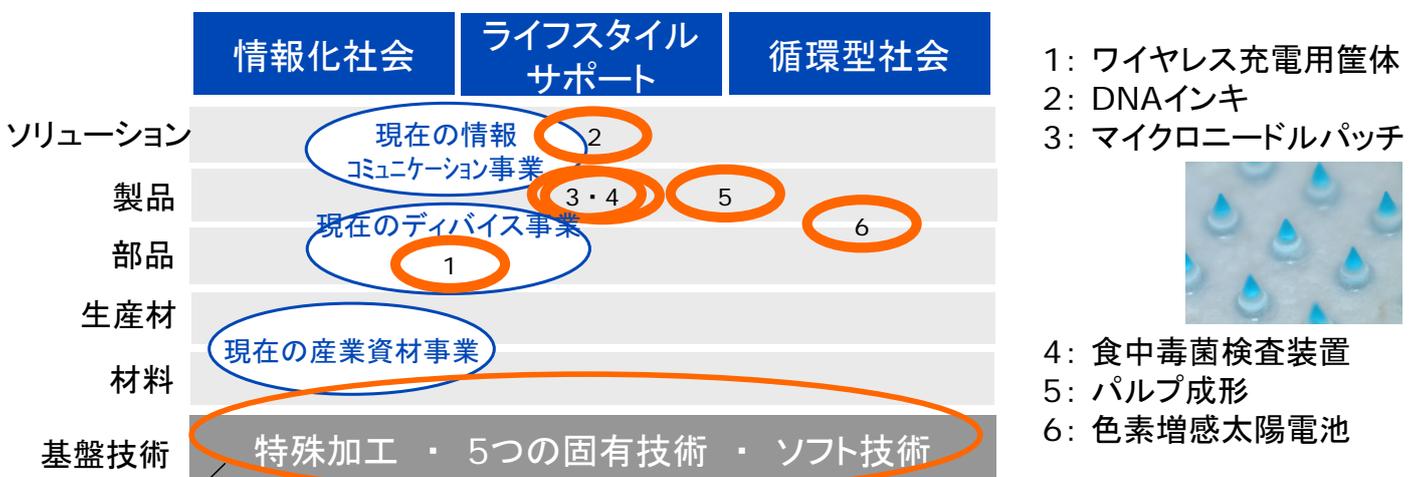
- フトリソ工法の受注拡大
- 印刷工法の進化(細線化を追求: 40/40 μmをターゲット)
- 次世代の技術を開発
 - MidCell™
 - 光学フィルムにタッチ機能を付与、ディスプレイモジュールの薄型化を実現(LCD、OLED)
 - フォースセンサー
 - Z軸対応、ペン入力も可能
- 自動車向けタッチモジュール
 - 産業資材の技術との融合

THINK OUTSIDE THE BOX

戦略1.(つづき)

事業・製品ポートフォリオの組み換えによる成長(新規事業開発)

- 3つの社会イメージをターゲットに、事業領域を拡大
 - 新製品の種まきは進捗、事業化を促進



- 素材・材料開発を起点とした事業機会の創出
 - Material ConneXionの東京ライブラリーを開設
 - デザイナーのための先進素材のライブラリー運営、コンサルティング(2013年10月～)



THINK OUTSIDE THE BOX

戦略2.

リーンな企業体質を構築

●効率性の改善

●投下資産回転率：
※投下資産=固定資産+運転資金

2012/3期 (構造改革強化策開始時)	2014/3期 (計画)
1.2回	2.5回

●売上原価率： 2012/3期 99.5% → 2013/3期 93.4%

●生産子会社の統廃合

- 産業資材： 金型事業の統合(国内を閉鎖、中国へ集約)
- デバイス： フォトリソ工法を軸に経営の一元化
 - 加賀・姫路・京都の三工場体制

●利益とキャッシュフローの捻出

- 遊休固定資産の売却
- 有利子負債の削減(2013/3期 短期借入金▲4,000百万円)

THINK OUTSIDE THE BOX

戦略3.

バリューチェーンのグローバル化・多様化

● デバイス 印刷工法(静電容量)を海外に移管

- S-MAC Co., LTD. (韓国)との合併事業を開始
 - 新会社NS Tech Co., Ltd.へのライセンス供与(持たざる生産)
- コスト優位、モジュール工程との一体化
- お客さまポートフォリオの改善
- 日本から韓国へのコモディティ技術の移転モデルを構築

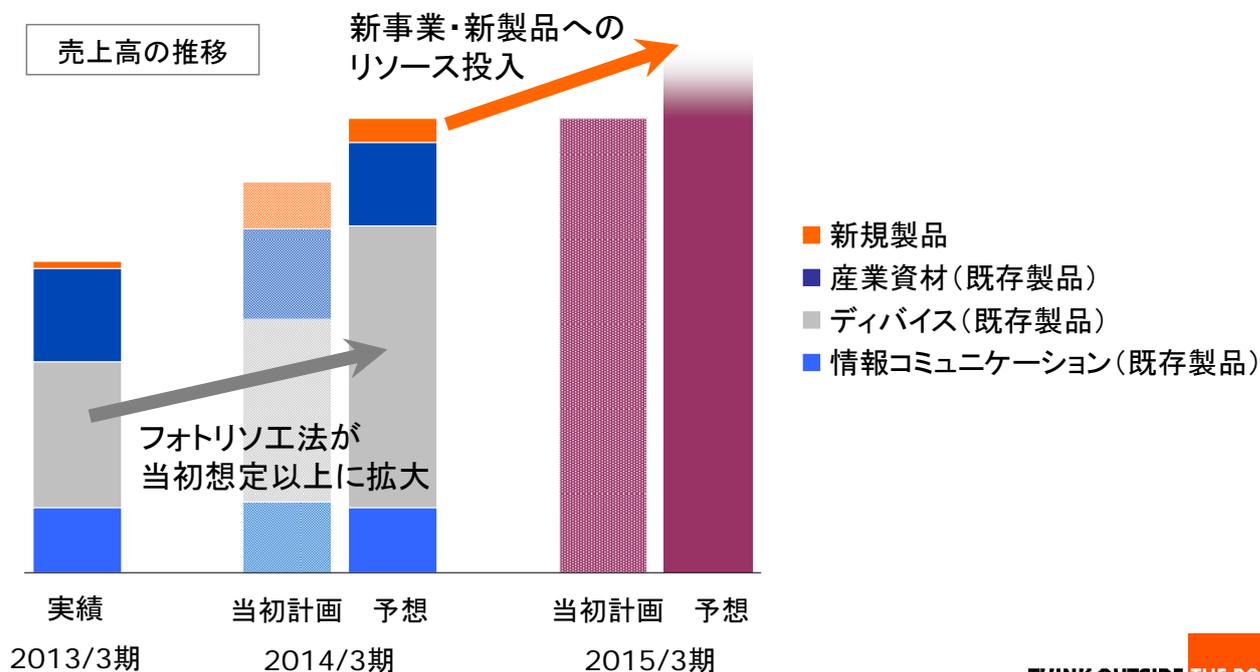


S-MAC牙山工場

THINK OUTSIDE THE BOX

2015年3月期へ向けて

- 売上高：2014年3月期に最終年度計画を1年前倒しで達成見込み
- ポートフォリオの是正：新事業・新製品比率の引き上げが急務



26

ご清聴ありがとうございました。

NISSEHA

【お問い合わせ先】

日本写真印刷株式会社
コーポレートコミュニケーション室IRグループ
室長 谷口哲也

T 075 823 5144 (IRグループ直通)

免責事項

本プレゼンテーション資料には、日本写真印刷株式会社の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。そのため、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などのさまざまな要因により、記述されている将来予想とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

- 本資料の業績数値は、特に注記がない限り、すべて連結ベースとなっております。

27